

競技要項

1. 試合方法・試合時間

- Sリーグは全チームによる総当たり戦を行い、第2項に定めるリーグ戦順位決定方法に従い順位を決定する。
- Uリーグは平成30年度後期大会の結果で入れ替えを行い、その後グループ分けしたDiv I～IIIそれぞれで抽選を行い、予選リーグの組み合わせを決定する。予選リーグは第2項に定めるリーグ戦順位決定方法に従い順位を決定する。予選リーグの順位と抽選によりトーナメントの組み合わせを決定し、トーナメント戦を行う。
- Uリーグについては、パックスによりホームチームを決定する。(この時点でPSSの先攻も決める。)
- 試合時間は、次の通りとする。
Sリーグ： 全試合とも正規15分×3ピリオド、練習5分間、休憩3分間とする。
Uリーグ： 全試合とも正規15分×3ピリオド、練習5分間、休憩5分間とする。
貸切終了時刻2分前で打ち切りとする。
- Uリーグについては、第3ピリオド終了時に同点の場合、サドンデス方式による両チーム1名ずつのPSSで勝敗を決定する。

2. リーグ戦順位決定方法

リーグ戦においては、勝ちを3点、引き分けを1点とし勝ち点の多いチームを上位とする。勝ち点が並んだ場合は、以下1)～8)の条件順で順位を決定する。

- 1) 勝ち数の多い順
- 2) 当該チームの対戦成績
- 3) 当該チーム同士(3チーム以上)の試合で得失点差の大なるもの
- 4) 当該チーム同士(3チーム以上)の試合で総得点の大なるもの
- 5) 全試合の得失点差の大なるもの
- 6) 全試合の総得点÷総失点の商の大なるもの
- 7) 全試合のペナルティータイム(分)の少なるもの
- 8) 直近大会において順位が上位であるもの

3. 競技規則

東京都アイスホッケー連盟の定める補助規則(第4項)を除いて、原則として国際競技規則(※)による。
※2021年IIHFルール変更を適用する。

4. 補助規則

4-1) 棄権

試合を棄権するチームは、試合前日の17時までにその理由を運営委員まで電子メールにて entry@tihf-senior.com まで届ける事。その場合0:15不戦敗となる。ただし、大会要項のキャンセル規定に定められた試合費を負担する。

4-2) 連盟未登録選手が出場した場合、その試合を没収試合とし不戦敗とする。

4-3) 同一年度内の移籍は、これを認めない。同一年度内に一旦他道府県連盟に登録した後、東京都連盟の再登録についても、これを認めない。

4-4) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。(発覚次第退場とする)当該選手がポイント(ゴール・アシスト)をあげても無効となる。

当該選手がペナルティをおかした場合は代替選手がそのペナルティを受けるものとし、当該選手は退場とする。(背番号だけの間違いは発覚次第直ちに修正する事。ポイントは認められ、出場可能。)

4-5) 試合の実施は試合開始時までにキーパー1名とプレーヤー5名若しくはプレーヤー6名、第2ピリオド開始までにキーパー1名とプレーヤー5名をミニマムとし、それ以下の選手数のチームは棄権したとみなし不戦敗とする。(キーパーが試合開始までにリンク上に居ない場合はプレーヤー6名で開始し、第2ピリオド開始時にリンク上に居なければ不戦敗とする。)怪我やゲームアウト等で最低人数を下回った場合は、その時点で不戦敗とする。

また、両チームが人数不足の場合は、両チームとも-15点とし、両チーム不戦敗とする。トーナメント方式

4-6) オンアイスオフィシャルについて、Sリーグは、レフェリー委員会よりレフェリー(2名)・ラインズパーソン(2名)を派遣する。Uリーグは原則レフェリー委員会よりレフェリー(1名)・ラインズパーソン(2名)を派遣する。

4-7) 当番チームは、オフアイスオフィシャルとしてペナルティーアテンダント2名・ゴールジャッジ2名・タイマー1名・ペナルティタイマー1名・記録1名・アナウンサー1名(計8名)が開始30分前までに集

合し、当番試合のオフィシャルを務める。

オフィシャルを2チームで担当する場合は、各チームから4名ずつが当番に当たり、原則として当番1がペナルティタイマー、記録、アナウンサーを務め、当番2がタイマーとペナルティアーテンダントを担当する。なお、各当番チームの最低1名はチームに所属する選手・スタッフであるものとする。

当番の肩代わりはトラブルの原因となりやすいので極力避けること。やむを得ず肩代わりする場合は、試合開始日の前日の17時までにその理由を連盟まで文書にて届けること。尚、当番欠席により試合が行えなかった場合、または当番に人数不足が認められた場合・遅刻の場合は別に定める罰金を支払うこと。

(上記の様な当番の欠席・人数不足・遅刻があった場合、試合後当該対戦チームの部長名でその旨をFAX、または電子メールで連盟に報告して下さい)

- 4-8) Sリーグは当該試合の「チーム責任者」をオールメンバー表に記入し提出すること。「チーム責任者」は監督・コーチリストに記載されている選手、スタッフのなかから、ユニフォームを着用しない者が務める。
- 4-9) ベンチ入りできる最大人数は25名とする。(選手:22名、スタッフ:3名)
- 4-10) Sリーグは各チーム1回のタイムアウトを使用できるものとする。
- 4-11) 選手、スタッフは試合当日に検温を行い、37.5℃未満であればメンバー表にチェックを付けて提出すること。選手、スタッフ、およびその近親者に37.5℃を超える発熱がある場合はリンクに立ち入らないこと。
- 4-12) ゲームミスコンダクトペナルティ以上のペナルティに関しては、連盟のガイドラインに沿って処分を科す。
- 4-13) リンク内ではつばを吐く行為を禁ずる。当該行為が認められた場合はゲームミスコンダクトペナルティを科し、連盟のガイドラインに沿って処分を科す。
- 4-14) Sリーグはヘルメット・ユニフォーム・パンツ・ストッキングを統一すること。
Uリーグはユニフォーム・ストッキングを統一すること。
(両リーグとも、背ネームは姓のみ可、ニックネーム等は不可) →猶予期間あり(確定次第連絡)
背ネームを隠す場合、同色系の布を縫い付け、試合中にはがれないようにすること。
- 4-15) Sリーグ、Uリーグともに全選手が必ずマウスガード、およびバイザー(フルフェイスマスクを含む)を装着するものとする。
- 4-16) 試合開始前、試合終了後の握手は行わない。
- 4-17) 20歳以下のプレーヤーについては、2022年8月1日以降に行われる試合に出場する場合、「首・のど用プロテクター」、ヘルメットに取り付けられた「耳あて」を装着しなければならない。耳あてを外したまま試合に参加することは認められない。
- 4-18) 10点差以上の得点差がついた時点で、次のフェイスオフ以降のゲームタイムについては、ランニングタイムとする。
ただし、次の場合は時計を一旦止める
a) 得点時(レフェリーが本部に報告し、電光掲示板入力が確認され次第直ちにスタートする)
b) 反則発生時(次のフェイスオフでパックがドロップ後スタートする)
c) タイムアウト(Sリーグのみ。アナウンスと同時に止め終了ブザーと同時にスタートする)
- 4-19) Uリーグについては、同一の試合で3回ペナルティを課せられた選手は、その試合の残り時間を退場となる。当該ペナルティは代行選手により遂行される。また、ダブルマイナーペナルティは2回のペナルティ、ミスコンダクトペナルティは1回のペナルティとみなす。ただし、ペナルティが失点によりウォッシュアウトされた場合はペナルティ回数に含まない。
- 4-20) 選手、スタッフ、オフィシャルは試合1週間前より、別に定める「検温・問診チェック表」に体温、体調および簡単な外出メモを記録すること。
- 4-21) 近親者・勤務先等に感染者が出て濃厚接触者に該当する場合は、その旨をチーム代表者より電子メールにてentry@tihf-senior.comに連絡し、7日間活動を自粛する。
- 罰則) 監督会議・レフェリークリニック・当番に遅刻・欠席及び試合を棄権・未登録選手の出場及び連盟規約違反をした場合、罰金より無期限試合出場停止迄の罰則を課す。

5. 試合結果報告(Uリーグのみ)

- 各試合について、当該チームと当番チーム(計4チーム)はそれぞれ個別に、下記都連HPのスコア報告サイトに連絡をすること。(試合終了後現場から携帯電話・スマートフォン等で送信すること)

スコア報告サイト	http://tihf.jp/prpi
アクセスID	tihf

(正確を期するために必ず4チームからの結果連絡をお願いします。)